

MATERIAL FLOW

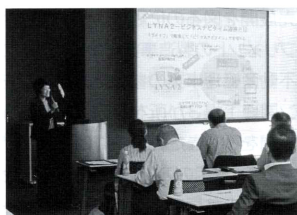
月刊 マテリアルフロー

8 2016
Aug.
No.677

NEWSPECIAL [ニュース・スペシャル]

LYNA2-ビジネスナビタイム連携の導入事例をユーザーがセミナーで報告

(株)ライナロジクスと(株)ナビタイムジャパンは、自動配信システムのLYNA2とビジネスナビタイム動態管理ソリューションを連携したLYNA2-ビジネスナビタイム連携についてのセミナー「自動配車から動態管理まで一気通貫で運用! LYNA2-ビジネスナビタイム連携」を7月8日に東京・南青山のナビタイムジャパン本社セミナールームで開催した。



ソリューションの基本的なレクチャー風景

当日は基本的なLYNA2とビジネスナビタイム個々の製品紹介や連携ソリューションの解説、実機デモにとどまらず、実際にLYNA2-ビジネスナビタイム連携を業務に導入している事例解説もプログラムに盛り込まれるなど、内容の濃い3時間の集中講座が展開された。

実際の導入事例が紹介されたのは



導入事例について会場参加者からの質問に答える(株)ヒラマツ藤田克巳取締役(右)と、進行役のライナロジクス株佐藤あすか氏



実機でのデモ紹介風景

SRGタカミヤグループで主に建設現場の足場などの機材を集配する(株)ヒラマツのケース。約40台の車両で、前日に積み込みして翌朝に車庫を出発する宵積みと、1台の車両が複数拠点で積み下ろしを行う独特の業務スタイルがヒラマツの特徴で、電話受注とメモによる配車担当とのやり取りや、随時変更される翌日オーダーなどから、情報伝達のミスや配車の難度と負荷が高い等の問題点を抱えていた。

これに対して2年前からLYNA2-ナ

ビタイムジャパンの連携を導入したことによって、根本的な情報伝達ミスの減少、配車計画作業負荷の低減、端末で翌日予定が確認できることから、前日業務中の電話確認等の必要がなくなる等

の成果により、業務が1.5倍に増加したにもかかわらず、変わらないスタッフ数で切り盛りできているという。

ヒラマツの藤田克巳取締役は「導入時に大変なことは特になかった。日々行先が変わる仕事の特性から当初カーナビ導入の計画があったが、せっかくなら自分で行先入力が必要のないデバイスがベストと考えたのが検討のきっかけ。当初はスマホに難色を示していた高齢ドライバーも、導入後はすぐ慣れて積極的に活用中」と経緯と効果の実感を語った。